

平成三十年度国文学科講義題目, 編集後記,
執筆者紹介, 奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-11-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://osaka-shoin.repo.nii.ac.jp/records/4626

平成三十年度 国文学科講義題目

読書へのいざない

嶋崎さや香・田原 広史

長谷あゆす・富田 愛佳

国文学入門

田原 広史・中 周子・長谷あゆす

東野 敏夫・奈良崎英穂

日本文学概論

大阪・上方のことば文化

森西 真弓・白川 哲郎

奈良崎英穂・桂 かい枝

大阪ことば入門

日本文学概論

現代文法概論

古典文学史

近現代文学史

文学作品講読(上代・中古)

文学作品講読(中世・近世)

文学作品講読(近代・現代)

文学作品講読(近代・現代)

文学作品講読(近代・現代)

文学作品講読(近代・現代)

文学作品講読(近代・現代) B

奈良崎英穂

日本語講読(古典語) A

日本語講読(現代語) B

日本文学研究(上代・中古) A

日本文学研究(上代・中古) B

日本文学研究(中世・近世) A・B

日本文学研究(近代・現代) A

日本文学研究(近代・現代) B

日本文学研究(近代・現代) A

日本文学研究(近代・現代) B

日本語学研究

日本文化研究

漢字書法 A・B

漢字書法 A・B・C

漢字仮名交じり書法 A・B

観賞法

篆刻法

書論

創作研究 A・B

創作研究 C

創作研究 D

出版編集企画論

著作権概説

創作理論と実践 A

創作理論と実践 B

創作演習 A

創作演習 B

創作演習 C

創作演習 D

創作演習 E

創作表現研究 A

創作表現研究 B

マンガ編集企画論

作品制作基礎

作品制作応用

CG基礎

キャラクター制作演習 A・B

キャラクタービジネス論

サブカルチャー史

デジタルコンテンツ論

東野 敏夫

森川史実代

東野 敏夫

森西 真弓

嶋崎さや香

奈良崎英穂

重松 恵美

奈良崎英穂

森西 真弓

酒多 隆子

田中 新一

山口佐知子

中 周子

森西 真弓

青木 治道

藤原 舞子

藤原 舞子

都築 山浩

都築 山浩

南天 佑・青木 治道

大島 一豊

應矢 泰紀

都築 由浩

広告企画論

酒多 隆子

情報メディア論

酒多 隆子

サブカルチャー研究 A・B

應矢 泰紀

キャラクター制作演習 C・D

小笠原成彦

研究入門ゼミ A・B

田原 広史・中 周子

長谷あゆす・東野 敏夫

奈良崎英穂・青木 治道

発展ゼミ A・B

田原 広史・中 周子

長谷あゆす・東野 敏夫

奈良崎英穂・小笠原成彦

発展ゼミ C・D

南天 佑

田原 広史・檀原みすず

中 周子・東野 敏夫

学校文法入門

書写 A

書写 B

漢文講読 A・B

中国書道史

日本書道史

中国文学

中国文学史

椛島 雅弘

国語科教科教育法 A・B

木村 雅則

国語科教科教育法 C・D

木村有美子

書道科教科教育法 A・B

東野 敏夫

木村 雅則

東野 敏夫

増田 達治

生井真理子

美濃 幸男

美濃 幸男

椛島 雅弘

編集後記

樟蔭国文学第五十五号をお届けする。平成三十年度は特にこれといった周年行事などもなく、通常の年となった。ただ、昨今の高等教育を取り巻く環境は厳しく、なかなか平穩無事とは言い難い日々である。現在、国文学科が取り組んでいる教育内容については、国文学会報やホームページ、ブログ等で発信しているところであるが、「ことばと文化」についての教養を深め、積極的に社会に貢献する」といった目標を掲げている。

これを達成するために、今年度より新たなプログラムを取り入れている。「大阪・上方のことば文化」に関する一連の科目を設置し、実際に現地で落語や博物館を見学するといった体験型授業を展開したり、「読書」をキーワードとして、一年次に少人数の演習をおこなったり、書店と協力して職場体験や提案を行ったりする授業を始めた。また、図書館内に「樟蔭国文学百選」と名付けたコーナーを設置し、学科での学びの基礎となる図書を推薦し、授業でも積極的に活用するという試みもスタートした。

さらに、人前で自分の考えや意見を述べることができる人になって欲しいという意図から、これまではゼミ代表で行なっていた卒業論文発表会を、四年生全員が発表するという形に変更した。今年は六十名が三会場に分かれて、朝の十時から夕方五時までかけ発表をおこなった。一人当たりたった十五分程度ではあるが、自分で取り組んだ内容を後輩たちの前で発表することは貴重な体験になると考えている。

今後、学生にとって自分がどのくらい伸びたかが実感できるプログラムを充実させ、その成果について、本誌にも発表していければと思う。

(国文学科長 田原広史)

執筆者紹介

中 周子 本学教授
あせごのまん 奈良崎英穂・本学准教授
樋口尊子 本学国文学科・平成十六年卒業
嶋崎 さや香 本学専任講師

樟蔭国文学 第五十五号

平成三十一年三月一日発行

大阪樟蔭女子大学
編集者 国語国文学会
(代表者 田原広史)

大阪府阿倍野区箕野北丁四十六
印刷所 株式会社 信利
電話 〇六六七三二八三三

五七七―八五五〇
東大阪市菱屋西四丁目二番二云号
大阪樟蔭女子大学国文学科
大阪樟蔭女子大学
発行所 国語国文学会
電話 〇六六七三二八二一